

まつり 2009



今回で4回目となる「愛南大漁まつり2009」は、今年は潮まわりの都合で「大型連休」をはずしての開催となりました。当日は好天に恵まれ、県内外から約2万5千名が来場し、大いに賑わいました。

「御荘湾立て干し網」は、引き潮で逃げ場を失った魚を網や手づかみで獲るといった伝統的な漁法を、地域活性化をめざしたイベントとして実施しているものです。放流された特大ブリやタイ、ハマチ、アジなど約2万匹を獲ろうと「にわか漁師」たちが、スタートの号砲とともに一斉に海へ駆け出し、我先にと大物を狙ってタマ網を操っていました。大魚が獲れるたびに各所で歓声が沸きあがっていました。

また、アサリ約2・3トンも放流され、浅瀬の干潟では多くの家族連れが潮干狩りを楽しみました。色の付いたアサリを見つけた方（先着200名）には、愛南ゴールド（河内晩柑）、や養殖マダイなど、本町自慢の特

愛南 大漁



産品がプレゼントされました。

南レクロツジ駐車場で開催された「かつおフェア」では、前日深浦港に水揚げされた約3トンのカツオが格安で販売され、新鮮なカツオを求めて、多くの買い物が行列を作っていました。そのほか計24団体による特産品販売ブースでは、キビナゴの唐揚げやじゃこてんなど、数多くの自慢の品々が販売されました。

イベント広場では、オープニングセレモニーに続いて、「ウルトラクイズぎよシヨック愛媛大学」、「大かつおの解体ショーと刺身の試食」、子どもたちを対象にした「お魚のつかみ取り」などが行われました。

来場者の方々には、愛南町の地域資源である「海」を体感し、「海」の幸を味わうとともに、愛南町の「ぎよしよく文化」を十分に満喫してもらえたのではないのでしょうか。



「愛南びやびやかっおフェア」開催中!

地元の漁師さんが、夜明け前から出港しカツオ漁を始めます。カツオを釣り上げたら、すぐに活け締め、血抜きを行います。スプリー氷で大事に保管します。鮮度を保ったままのカツオは釣ったその日のうちに「びやびや」の状態の水揚げします。これが、鮮度が抜群で身も引き締まり、もちもちした食感の「愛南びやびやかっお」です。脂が乗っているにもかかわらず、さっぱりとして口の中に広がる旨みがあります。

期間中は、漁があつた場合に限り下記取扱店で「愛南びやびやかっお」を味わうことが出来ます。
問い合わせ 愛南漁協
(TEL 72-1135)

カツオは鮮度が命です。愛南町が誇る「愛南びやびやかっお」をこの機会にぜひご賞味ください。

開催期間
7月31日(金)まで

取扱店

愛南びやびやかっお隊(下図)

